

CO₂吸収源の森 枯れ木の植替え植樹 (H26年3月18日) 報告書

1. 経緯

H23年3月とH24年3月に“カーボン・オフセット推進事業”の一貫として、亀浦処分場跡地に“CO₂吸収源の森づくり”のために植樹を行った。この度、一部の樹木のが枯れていたため、下記の団体からの募金を利用し新たに苗を購入し植え替えを行った。

2. 活用した募金

宇部市 H25年度カーボン・オフセット募金

宇部市社会福祉協議会 H25年度ボランティア活動振興支援事業助成金より

3. 日時： 平成26年3月18日 8時45分～10時

4. 参加者： 宇部市役所 環境政策課 西村係員

(敬称略) UNCCA 代表：溝田

事務局：仰木、兼久、木原、松井、太田、藤井、亀田

5. 植樹：30本

ネズミモチ (H=1.0m) : 10本、トベラ (H=0.5m) : 10本、シャリンバイ (H=0.5m) : 10本

6. 植え替え前の植樹地の状況 (H26年2月17日)



植樹地 状況



枯れた苗木



7. 植え替え植樹



7. 植え替え植樹後



トベラ



ネズミモチ



シャリンバイ



植樹地の状況」

枯れた苗の植え替えも終わりました。また枯れたように見えた木も温かくなって新芽が吹き出してきました。植樹後3年目と2年目の樹木ですが、3年目の方はしっかり根付いて丈夫に育っています。1年の違いを大きく感じる事が出来ます。来年はもっと大きく育った姿を見ることが出来るでしょう。